

みんなの ひろば



※上の黒点は、題字と同じ内容を
点字で表したものです。

主 な 内 容

- 理事長あいさつ 2
- 全国地域生活定着支援センター協議会
北海道・東北ブロックセンター研修会 3
- みたけ学園・みたけの園 後継施設の新名称が決定
- 共同生活事業所「じゃんぷ」新設グループホーム 4
- 業務改善活動発表会 5
- 西日本豪雨被災地支援活動 6
- 松風園 就労定着支援事業
- 人材育成室から 7
- 障がい者文化芸術活動支援 8
- 新採用職員紹介

第 **130** 号
平成31年3月1日
発行



生活介護事業所
ふたば

～小正月行事～

恒例の「みずぎ団子作り」をしました。
“今年もよい年でありますように!”



児童養護施設
和光学園

～節分行事～

今年も和光学園に鬼がやってきました!



障害者支援施設
かたくり

～お楽しみショップ～

雪深い奥中山でも買い物がしたい!
という利用者さんの願いを叶えるため、
近隣の商店に出張してもらいました。

冬の風景

障がい者文化芸術活動

2020東京パラリンピックまで1年半と迫り、障害者文化芸術活動推進法が昨年6月に施行される中、全国的に障がい者の文化芸術活動が盛り上がりを見せています。当事業団もこの分野で様々な取り組みを進めています。

岩手県障がい者 芸術活動支援センター 「かだあと」

岩手県より委託を受け、障がい者芸術活動支援センターを運営しており、①相談支援、②人材育成、③権利保護、④調査・発掘、⑤展示・発表機会の創出、の5つの事業に取り組んできました。今回は、②人材育成、⑤展示・発表機会の創出についてご紹介します。

人材育成

11月4日にふれあいランド岩手を会場に、るんびにい美術館の板垣崇志さんを講師にお呼びし、「障がい者アート活動支援研修会」を開催しました。福祉の支援からアート支援への意識変革を促すワークショップ、展示に関するワークショップを開催し、知識・技術のみではない創作支援に関わるうえでの意識を学ぶ研修となりました。



展示・発表機会の創出 岩手県障がい者文化芸術祭

障がいのある人の日頃の文化芸術活動の展示・発表機会として11月15日から12月2日の期間、ふれあいランド岩手を会場に岩手県障がい者文化芸術祭を開催しました。県内各地から応募のあった326点の魅力ある作品を展示し、多くのお客さまにご覧いただきました。

12月1日に開催したふれあい音楽祭では応募頂いた22団体が出演し、バンド演奏や合唱、ダンス等さまざまなステージを披露しました。最後はゲストの松本哲也さんの呼びかけで観客の皆さんもステージに上がり、一体感に包まれたイベントとなりました。



障がい者芸術普及 プロジェクトチーム

障がい者芸術普及プロジェクトチームは障がい者文化芸術の分野で先駆的活動をしている滋賀県の社会福祉法人グローへの派遣研修修了者5名で構成されています。法人の公益的取り組みとして、障がい者芸術普及と施設と地域の交流につながるイベントを企画し開催しました。

1月20日、宮古市松山荘を会場に「障がい者アートと創作体験ワークショップ」を開催しました。

社会福祉法人グローの研修報告、魅力ある作家の紹介とおして障がい者芸術の魅力をお伝えしました。後半はワークショッププランナー那須賢輔さんをお呼びし、創作体験ワークショップを開催。創作の楽しさを感じ、互いの作品、表現の魅力をj感じることで地域の方々との新たな交流につながりました。



平成30年度 新採用 職員紹介



平成30年12月1日採用(総合職)
岩手県立療育センター
診療放射線技師
おおむら たかひろ
大村 貴弘
「 に し く 査を行います。」



平成31年2月1日採用(総合職)
岩手県立療育センター
看護師
さいとう ちあき
齋藤 千秋
「一生 ります。
よ し く お い します。」



平成31年1月1日採用(総合職)
岩手県立療育センター
看護師
すが わら るみこ
菅原 ルミ子
「子 も が 楽 し く
ご る よ う に 看 護 し ます。」



平成31年2月1日採用(総合職)
岩手県立療育センター
看護師
たなかだて ひろみ
田中館 宏美
「 と こ り を 大 に
し て い き た い で す。」